

法職等説明会に参加した学生の感想

5月11日(土)

【1】 10:00-11:00

はじめに

本学ロースクール(法科大学院)での生活と司法修習、現在の仕事について

- 関西学院の法学部で学ぶことや、将来の道、理念等について再確認しました。ロースクールに生活についても想像よりもずっとハードな生活で少し驚きましたが、司法試験についてや、関西学院の法科大学院の仕組みについて詳しく知ることができてよかったです。
- 今回の講演を聞いて、法律は僕たちの生活にとっても深い関わりがあるということを改めて思いました。法学部で学んだことを活かして色々なことにチャレンジしようと思います。
- 学部時代は法学部とは異なる学部にも所属されていたのに、ロースクールに進学されたのは本当にすごいなと思いました。年齢も近い先輩の話だったので、分かりやすく、親近感を持ちながら聞くことができました。

【2】 11:05-11:50

弁護士の仕事とその魅力について

- ご自分のことや、例も交えながら講演してくださったので、とても分かりやすかったです。とても前向きで、弁護士の仕事を心から楽しんでおられるということが伝わり、自分も心から仕事を楽しめるような人間になりたいと思いました。
- 弁護士はクライアントに頼られるが、弁護士も一人の人間だから、自分の選択が最良だったと思えるように、慎重に考えないといけないのだと思いました。
- 弁護士の魅力は、給料や肩書きだけではなく、中身そのものにあると思いました。どの仕事も、“言われなくてもやる”は共通事項であり、私もそれをしっかり実践できる人になりたいと思います。

【3】 13:00-13:45

司法書士の仕事とその魅力・司法書士試験について

- 最近では、司法書士を目指す女性が増えていたり、登記だけでなく裁判実務が可能になっ

たという点で、社会で活躍できる場が広がっていて、これから司法書士という職業がより注目されるのではないかと感じました。

○司法書士という仕事への興味が増しました。難しいとは知っていましたが、合格率は2%と聞き、改めてすごい仕事だと思いました。同じような仕事はあまりなく、感謝される仕事と聞き、良いなと感じました。

○一所懸命勉強して得た資格でも、試験に合格して終わりではなく、そこから仕事や生計を立てることに、どのようにつなげていくかが問題なのだと分かりました。司法書士の仕事について、よく理解できました。

【4】 13：50－14：35

裁判官（判事）の仕事とその魅力について

○裁判官の仕事には前から興味があったので、実際に活躍していらっしゃる方から話を伺うことができいい経験となりました。裁判官の仕事は時間外労働が多く、責任が重い仕事ですが、やりがいのある仕事だと感じました。

○裁判官はすごく堅苦しく判決しかないイメージでしたが、そのイメージが一掃されました。研修・他職種経験・留学などができると驚きました。判決はどの人から見ても正当であるように構成されているのだと知りました。

○裁判官は、知識と経験が大切なのだと思います。精神的にも強くないと判決は下せないという現実を改めて知り、生半可な気持ちでは取り組めないのだと思いました。よりよい判決を求めて、という言葉は尊敬しました。

【5】 14：40－15：25

検察官（検事）の仕事とその魅力について

○正義を実現し、探求心のある検事はとてもカッコいいと思いました。被害者だけでなく、被疑者からも感謝されることがあると知って、さらに魅力的な職業だと思います。

○いちばん魅力的だと思ったのは「人が相手であり、社会的貢献を実感できる」という点です。十分な証拠や情報に触れ、真実を探求できるだけでなく「人のために」働くことのできる検察官という職業は大変魅力的で、やりがいのあるものだと感じました。

○自分の中にあった検察官像がかなり変化しました。思いやりがあり被害者と被疑者を第一

に考える人たちだと分かりました。自分の能力を最大限に活用し、社会の公平さを守る魅力的な仕事だと改めて思いました。

【6】 15：30－16：15

司法研究科での学びについて

○法律書で勉強することに加えて、実務家との話や、一般の方との模擬相談など実践的な学びができることを知りました。実践的なスキルを身につけることは、法曹になる上で不可欠だと思うので、ぜひロースクールに入学して学びたいと思います。

○カリキュラムは厳しいが、教員と学生との距離が近いことに、魅力を感じた。夢を持って、意欲的に法律を学びに行くことが大切だと思った。

5月18日(土)

【7】 9:30-10:15

公認会計士・税理士の仕事とその魅力、各試験について

- 曖昧であった税理士と、公認会計士の定義の違いを理解できたことも大きな収穫の一つです。法学部卒の公認会計士の方の生の声が聞けたのは本当に貴重な体験であったと思います。話も面白くて素晴らしい講義でした。
- ただ単にお金や地位やブランドのために、ある職に就いたとしても、長続きしないというのは改めてなるほどと思いました。自分も大学在学中に、自分のしたいことを見つけて、志を持って働きたいと思います。
- 税理士・会計士になるには、強い責任感が必要なのだと感じました。若いうちに税理士の資格を取得することができれば、キャリアが積めて、様々な形で社会貢献ができると思うので、積極的に取得に挑みたいです。

【8】 10:20-11:05

企業法務の仕事とその魅力について

- 今まで漠然としたイメージしか持てなかった企業法務という仕事について、明確なイメージが持てました。特に印象的だったのは、会社経営に提言を行ったり、ビジネスセンスが必要であると知ったことです。法律の知識を利用するにとどまらない、多面的な能力が要求され、重い責任を担いつつも、達成感が得られる仕事なのだと思います。
- 私は一般企業に就職したいので、法学部から大企業に入った女性のお話を聞くことができ、本当に良かったです。若いから、女性だからということはなく、一人の専門家として仕事ができるというのを聞き、ますます大きな企業で働きたいと思いました。
- 将来の進路の中で最もやってみたい職種だったことからすごく興味を持って話を聞くことができました。現在は攻めの法務へということで戦略法務を行っていたり、自ら考えること、幅広い知識、ビジネスセンスが必要であることなどすごく深い職だなと思うと同時に、これからの大学生活で自ら考える力を養うことの必要性を感じました。

【9】 11:10-11:55

裁判所書記官の仕事とその魅力

- 裁判員制度を機に、国民が裁判や法律に関心を持つことが重要になった社会の中で、裁判

所書記官のように第一線で活躍することにとっても魅力を感じる。今回の講義は、法学部生として非常に有意義な時間であったと思う。

○法廷に立ち会って、その場であったことを書き残したり、法的なことに関わっていく、責任の重い仕事なのだと思います。

○もともとこの職業に興味がありましたが、改めてすごい職業だと思います。細かい業務内容から待遇・昇進・なり方など、知りたいことをほぼ全て教えていただきありがたかったです。裁判を円滑に進めるためになくてはならない存在だと思います。

【10】 13 : 00－13 : 45

外務公務員の仕事とその魅力について

○外務公務員の仕事はかなりアクティブだなと思いました。外国に居ながら「日本」として様々な物事を考えられるようにならなければいけないのだなと勉強になりました。

○国のために働くという自負を持つことができる職業だと思います。また、語学や国際状況などを日々勉強することもできるので、人として成長できる大変魅力的な職業であると思いました。

○国益のために職務に従事するという点は大変魅力的だと思います。また通訳を通して、首相などとの交流があるのもすごいなと感じました。語学はしっかりと勉強しておこうと思いました。

【11】 13 : 50－14 : 35

地方公務員の仕事とその魅力について

○今回の講義を受けたことにより「公務員」という仕事への夢がより具体的なものになりました。公務員への夢が叶えられるように以後、大学生活を過ごしたいと思いました。

○今まで「市役所の仕事」と聞いてもあまりピンと来なかったのですが、法制担当の仕事を例に話していただいて、本当に分かりやすかったです。弁護士との調整や裁判での重要な役割を担っているということには、とてもびっくりしました。

○いま、市役所がどんな人材を求めているかや、実際にどうしたら公務員になれるかなど、私たちの知りたいことを教えてください、非常に為になりました。現在の私が、公務員に

なるためにできることをしっかり考えて実践したいと思います。

【12】 14：40－15：25

警察官の仕事とその魅力について

- 警察に入り、公安へ行くという夢があるので、話は大変面白かったです。自分が心配していた剣道や、体力面では、警察学校に入ってから鍛えればよいということで安心しました。やりがいがある仕事なのだと感じ、改めて警察官になりたい気持ちが強くなりました。

- 危険があったり、複雑なことがあったりするけれど、それだけにもものすごくやりがいのある仕事だと思いました。いざというときには本当に頼りになる、心から尊敬できる職業だと思う。

- とにかく衝撃を受けました。警察官の仕事の良い面、悪い面を両方聞くこともでき、知らなかった多くの警察官の仕事や苦勞、やりがいなどを聞くことができ、とても貴重な体験をすることができました。